

NSK

2014年3月期 第2四半期決算説明会

日本精工株式会社
2013年11月1日

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

1. 2014年3月期前半(4～9月)実績
2. 2014年3月期通期予想
3. 第4次中期経営計画の取組み
(補足資料)

1. 2014年3月期前半(4~9月)実績

事業環境

- ✓ 産業機械事業：電機 堅調、資本財 回復緩やか
- ✓ 自動車事業：国内= 前年の補助金効果の剥落により減少
海外= 米国堅調、アセアン減速、中国日系メーカー復調
- ✓ 円高の修正継続

決算サマリー

- ✓ 売上高4,136億円 (前年同期比+12.0%) / 営業利益288億円 (同+56.1%)
/ 経常利益 281億円 (同 +66.0%) / 当期利益147億円 (同 +24.4%)
- 6ヶ月累計で、対前年 増収、増益
- 半期売上高 過去最高、半期営業利益率 7.0%はリーマンショック後最高
- ✓ セグメント別業績
 - 産業機械事業：前年3Q以降 四半期毎 増収増益基調継続
 - 自動車事業：売上高、営業利益とも四半期・半期 過去最高

2014年3月期 前半(4~9月)業績サマリー



(億円)	13/3期前半 ＜実績＞	14/3期前半 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	14/3期前半 ＜5月予想＞
売上高	3,694	4,136	+442	+12.0%	3,900
営業利益 ＜営業利益率＞	184 ＜5.0%＞	288 ＜7.0%＞	+104	+56.1%	210 ＜5.4%＞
経常利益	170	281	+111	+66.0%	195
税引前利益	161	248	+87	+53.4%	195
当期純利益	119	147	+28	+24.4%	120
(換算レート1US\$=)	(¥79.41)	(¥98.85)			(¥90)
(" 1EURO=)	(¥100.64)	(¥130.00)			(¥120)

【主要指標】

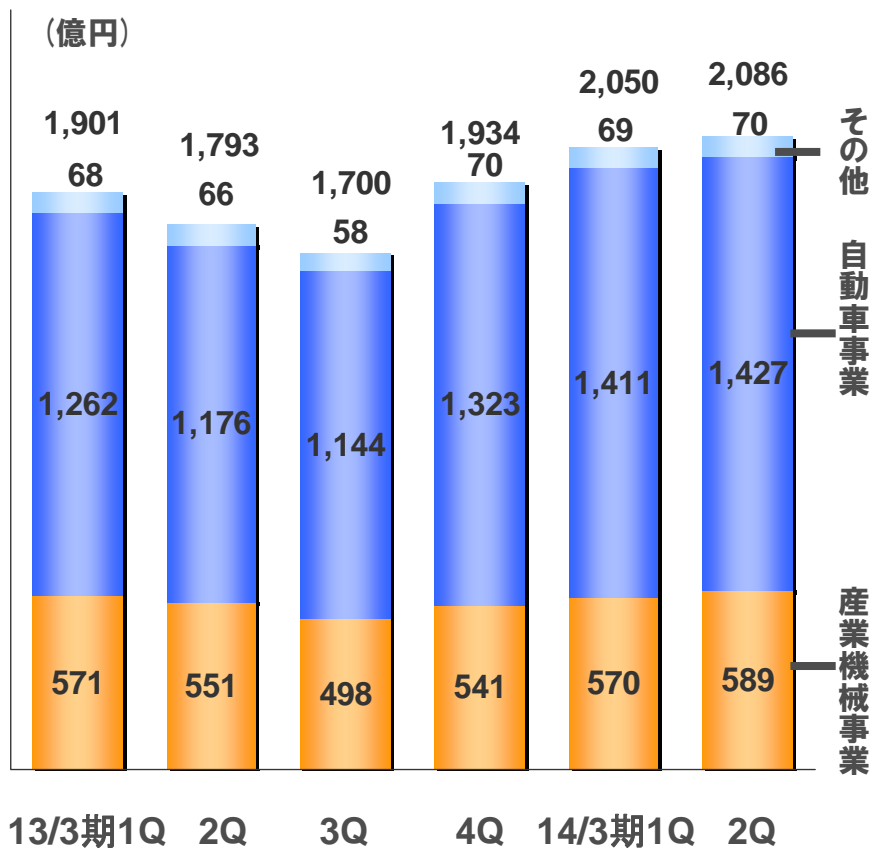
ROE	8.6%	8.9%			
Net D/E レシオ	0.58倍	0.46倍			
棚卸回転数	6.4回転	6.6回転			

売上高・営業利益 四半期推移



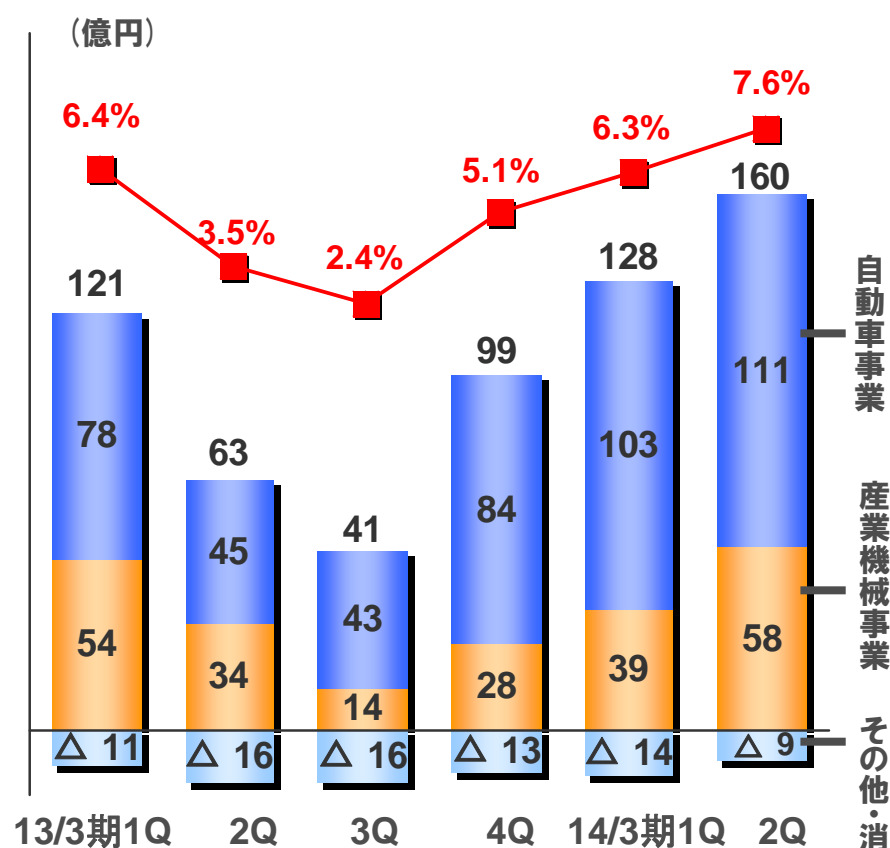
売上高

産業機械向け、自動車向けともに
前期3Qを底に増収基調継続



営業利益 / 営業利益率

2Qは物量の増加、コストダウン、為替円安の
効果により増益 7.6%はリーマンショック後最高



US\$= ¥80.20 ¥78.62 ¥81.18 ¥92.40 ¥98.76 ¥98.94
EURO= ¥102.91 ¥98.37 ¥105.23 ¥122.05 ¥128.95 ¥131.05

US\$= ¥80.20 ¥78.62 ¥81.18 ¥92.40 ¥98.76 ¥98.94
EURO= ¥102.91 ¥98.37 ¥105.23 ¥122.05 ¥128.95 ¥131.05

売上高・営業利益 [事業セグメント別]

(億円)	13/3期前半 ＜実績＞	14/3期前半 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	14/3期前半 ＜5月予想＞
売上高	3,694	4,136	+442	+12.0%	3,900
産業機械事業	1,122	1,159	+37	+3.3%	1,105
産業機械軸受	941	985	+44	+4.7%	950
精機製品	181	174	-7	-3.8%	155
自動車事業	2,438	2,838	+400	+16.4%	2,610
自動車軸受	1,172	1,352	+180	+15.3%	1,270
自動車部品	1,266	1,486	+220	+17.4%	1,340
その他	280	273	-7	-2.6%	305
消去	-146	-134	+12	-	-120
営業利益	184 <5.0%>	288 <7.0%>	+104	+56.1%	210
産業機械事業	88 <7.8%>	97 <8.4%>	+9	+10.8%	70
自動車事業	123 <5.1%>	214 <7.6%>	+91	+73.6%	165
その他	12 <4.4%>	14 <5.1%>	+2	+12.9%	15
全社費用	-39	-37	+2	-	-40

営業利益 増減内訳 ('13/3期前半⇒'14/3期前半)

NSK

'14/3期前半

(億円)

**前年同期差額
+104億円**

288億円

その他費用減少

為替影響

+9

+120

+168億円

'13/3期前半

184億円

物量減等

△32

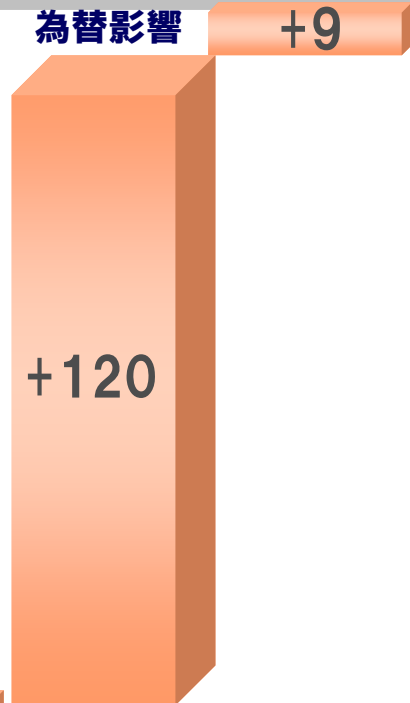
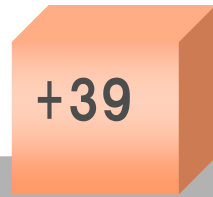
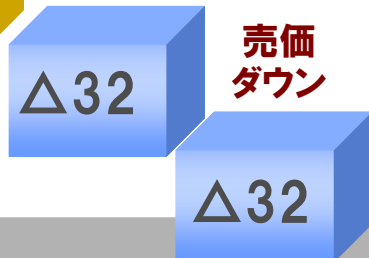
売価
ダウン

△32

外部調達費用
削減他の効果

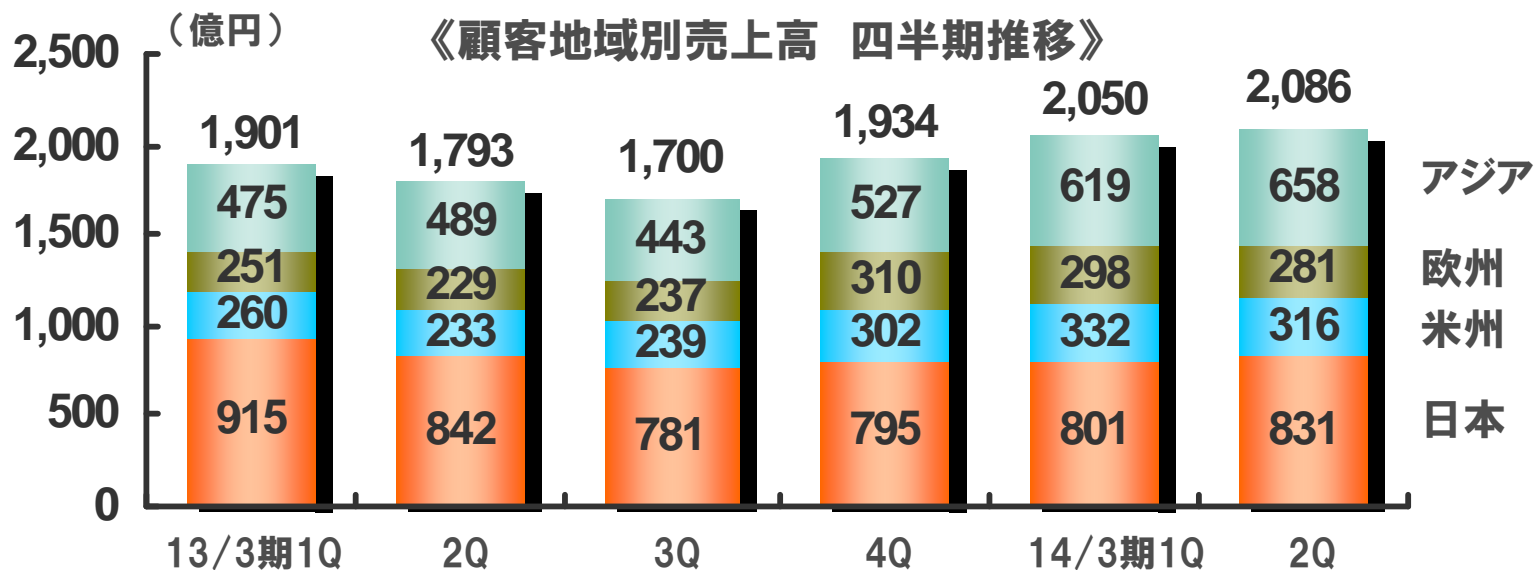
+39

△64億円



売上高 [顧客地域別]

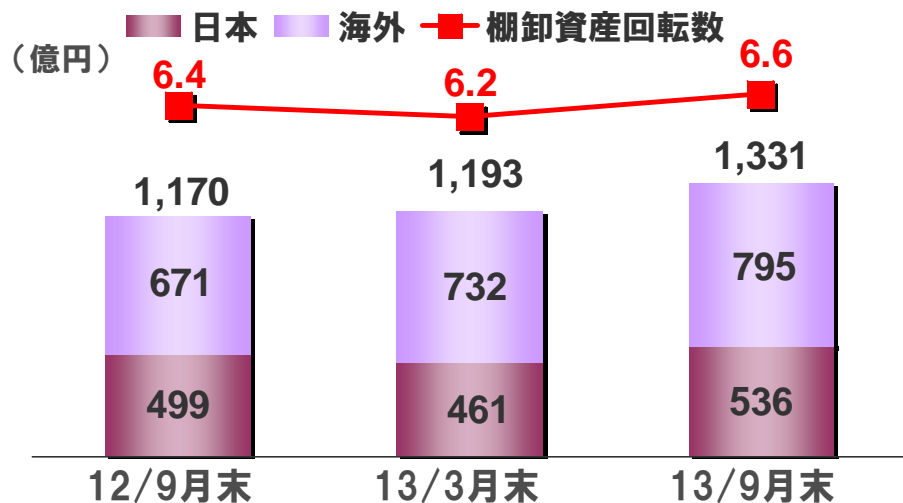
(億円)	13/3期前半 ＜実績＞	14/3期前半 ＜実績＞	対前年増減額	対前年伸び率
売上高	3,694	4,136	+442	+12.0%
日本	1,757	1,632	-125	-7.1%
海外合計 (海外比率)	1,937 (52.4%)	2,504 (60.5%)	+567	+29.2%
米州	493	648	+155	+31.3%
欧州	480	579	+99	+20.6%
アジア (アジア比率)	964 (26.1%)	1,277 (30.9%)	+313	+32.5%
内、中国	470	701	+231	+49.1%



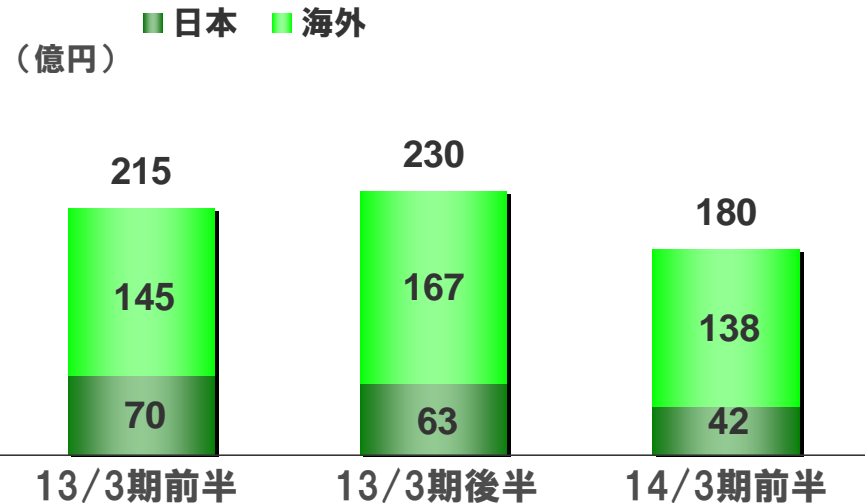
棚卸資産／有利子負債、設備投資／減価償却費



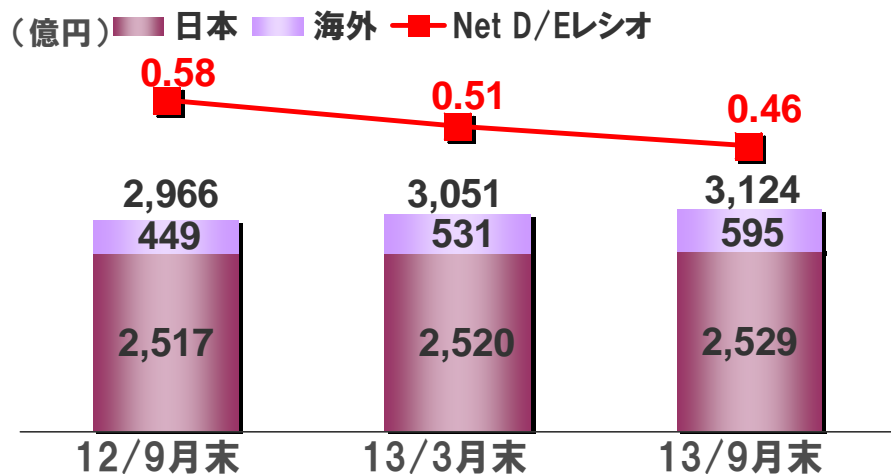
棚卸資産



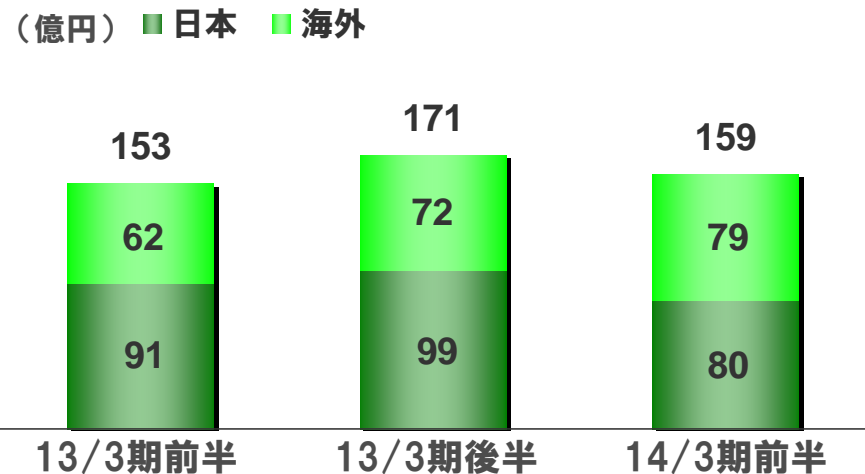
設備投資



有利子負債



減価償却費



2. 2014年3月期通期予想

通期業績予想修正 (9月公表)

- ✓ 5月通期計画に対し売上高/利益上方修正
- ✓ 対前年 増収増益
(売上高+1,072億円 +14.6%, 営業利益+256億円 +79.2%)
- ✓ 後半6ヶ月の為替前提：US\$=95円、EURO=125円
- ✓ 増配 上期7円、下期計画7円 (期初 上期6円、下期6円)

後半事業環境見通し

- ✓ 日本・米国経済は緩やかな回復基調
中国安定成長、アセアン成長鈍化
- ✓ 産業機械事業：
 - ・期初の下期回復見通しに対し、緩慢な回復
- ✓ 自動車事業：
 - ・国内生産 — 円安による輸出増と消費増税前の生産計画増
 - ・海外生産 — アセアン減速も、米国・中国は堅調に推移

2014年3月期 通期予想



(億円)	13/3期		14/3期				
	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <5月予想>
売上高	7,328	4,136	4,264	8,400	+1,072	+14.6%	7,900
営業利益 <営業利益率>	324 <4.4%>	288 <7.0%>	292 <6.8%>	580 <6.9%>	+256	+79.2%	490 <6.2%>
経常利益	303	281	269	550	+247	+81.5%	460
税引前利益	253	248	269	517	+264	+104.4%	460
当期純利益	157	147	193	340	+183	+116.0%	300
(換算レート1US\$=)	(¥83.10)	(¥98.85)	(¥95)	(¥96.93)			(¥90)
(" 1EURO=)	(¥107.14)	(¥130.00)	(¥125)	(¥127.50)			(¥120)

2014年3月期 通期予想 [事業セグメント別]



(億円)	13/3期		14/3期				
	通期 〈実績〉	前半 〈実績〉	後半 〈修正予想〉	通期 〈修正予想〉	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 〈5月予想〉
売上高	7,328	4,136	4,264	8,400	+1,072	+14.6%	7,900
産業機械事業	2,161	1,159	1,181	2,340	+179	+8.3%	2,300
産業機械軸受	1,831	985	990	1,975	+144	+7.9%	1,950
精機製品	330	174	191	365	+35	+10.4%	350
自動車事業	4,905	2,838	2,852	5,690	+785	+16.0%	5,250
自動車軸受	2,365	1,352	1,363	2,715	+350	+14.8%	2,550
自動車部品	2,540	1,486	1,489	2,975	+435	+17.1%	2,700
その他	533	273	367	640	+107	+20.1%	590
消去	-271	-134	-136	-270	+1	-	-240
営業利益	324 <4.4%>	288 <7.0%>	292 <6.9%>	580 <6.9%>	+256	+79.2%	490 <6.2%>
産業機械事業	130 <6.0%>	97 <8.4%>	98 <8.3%>	195 <8.3%>	+65	+49.8%	200 <8.7%>
自動車事業	250 <5.1%>	214 <7.6%>	221 <7.7%>	435 <7.6%>	+185	+74.1%	345 <6.6%>
その他	22 <4.1%>	14 <5.1%>	16 <4.4%>	30 <4.7%>	+8	+38.6%	25 <4.2%>
全社費用	-78	-37	-43	-80	-2	-	-80

営業利益 増減内訳 ('13/3期⇒'14/3期修正予想)

(億円)

前年同期差額
+256億円

'14/3期

580億円

為替影響

+107

外部調達費用
削減他

+78

物量増等

+155

+340億円

'13/3期

324億円

売価
ダウン

△74

その他
費用増加

△10

△84億円

2014年3月期予想 [顧客地域別売上高]



(億円)	13/3期			14/3期					
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <5月予想>
売上高	3,694	3,634	7,328	4,136	4,264	8,400	+1,072	+14.6%	7,900
日本	1,757	1,576	3,333	1,632	1,648	3,280	-53	-1.6%	3,210
海外合計 (海外比率)	1,937 (52.4%)	2,058 (56.6%)	3,995 (54.5%)	2,504 (60.5%)	2,616 (61.4%)	5,120 (61.0%)	+1,125	+28.2%	4,690 (59.4%)
米州	493	541	1,034	648	652	1,300	+266	+25.8%	1,185
欧州	480	547	1,027	579	576	1,155	+128	+12.5%	1,135
アジア (アジア比率)	964 (26.1%)	970 (26.7%)	1,934 (26.4%)	1,277 (30.9%)	1,388 (32.6%)	2,665 (31.7%)	+731	+37.7%	2,370 (30.0%)
うち中国	470	444	914	701	804	1,505	+591	+64.6%	1,185

3. 第4次中期経営計画の取組み

第4次中期経営計画の骨子

1兆円を支える企業基盤の確立

事業戦略

収益重視の成長

新興国での成長

顧客戦略・セクター戦略強化

生産力・技術開発力

戦略的提携

産業機械事業

自動車事業

経営基盤

1兆円の物量を回す管理能力構築

ガバナンス充実・コンプライアンス強化

事業構造改革

グローバルマネジメントの進化

生産・販売・管理
新システム

事業/地域
マネジメント

安全・品質・コンプライアンス

《第4次中期計画 数値目標》

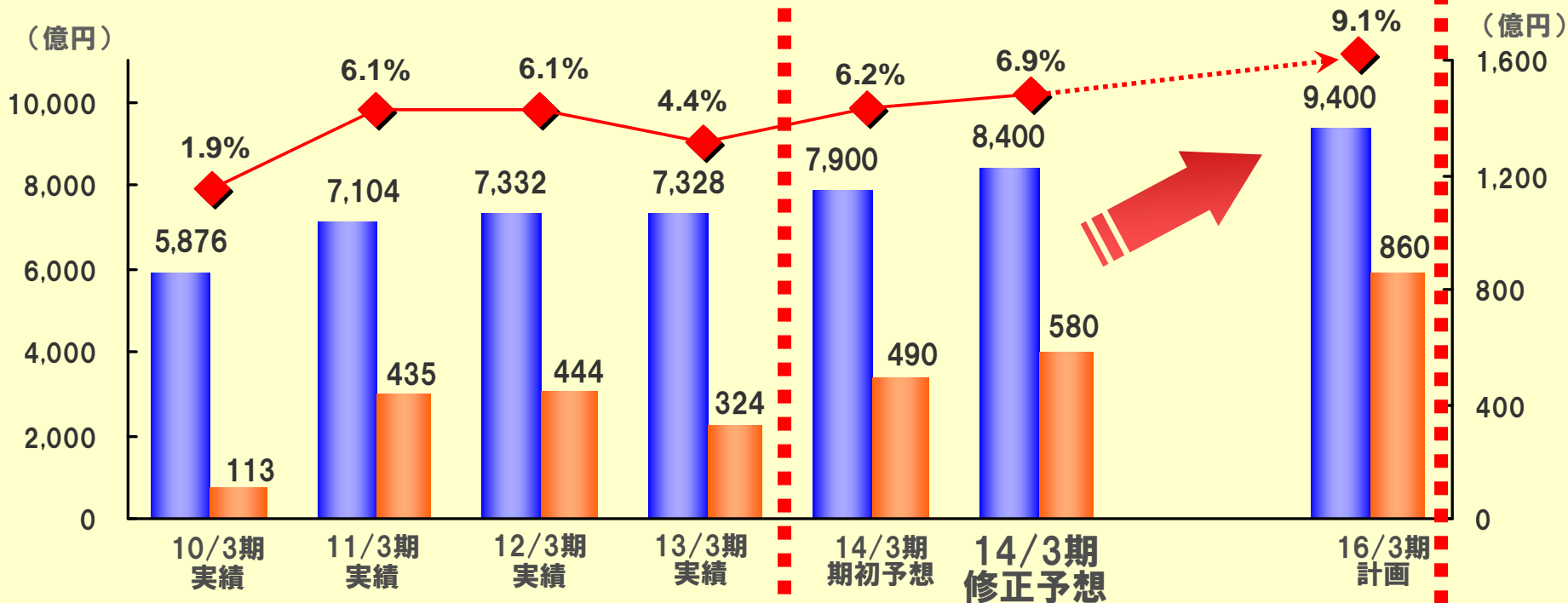
	2016年3月期
売上高	9,400億円
営業利益	860億円
経常利益	800億円
当期純利益	520億円
営業利益率	9.1%
ROE	13.0%
Net D/E レシオ	0.40倍
為替前提	US\$ = 90円 ユーロ = 120円

第4次中期経営計画 業績推移

第3次('09-'12年度)中期経営計画

第4次('13-'15年度)中期経営計画

■ 売上高 ■ 営業利益 ◆ 営業利益率



ROE	2.0%	10.3%	10.6%	5.2%
Net D/E	0.73倍	0.60倍	0.58倍	0.51倍

ROE	13.0%
Net D/E	0.40倍

\$	92.83	85.63	79.02	83.10	90	97
ユーロ	130.89	112.92	109.40	107.14	120	128

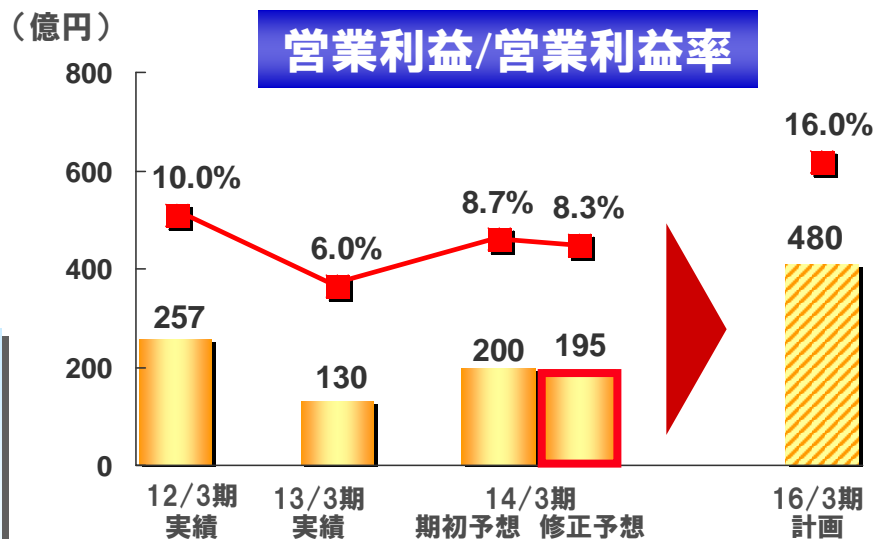
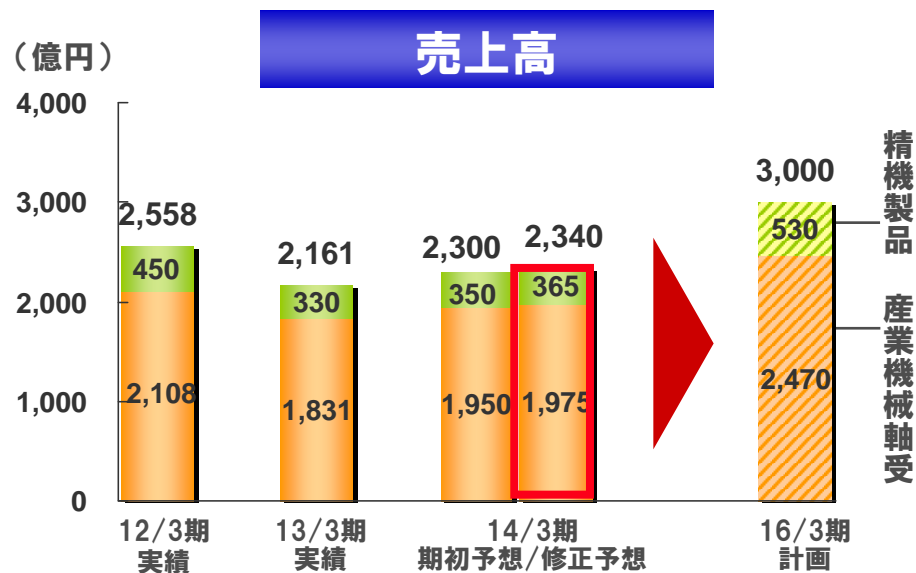
\$	90
ユーロ	120

産業機械事業① '14年3月期 後半需要環境と業績見通し **NSK**

【セクター別需要動向】 前半・後半比較

セクター	全体	日本	海外
電機/情報	→	→	→
鉄鋼	→	→	→
流体	→	→	→
鉱山/建機	→	→	→
農機	→	→	→
風車	→	→	→
車両	→	→	→
工作機械	→	→	→
射出	→	→	→
半導体/液晶	→	→	→
AM	→	→	→

消費財関連 : 家電・電動工具等 堅調
 インフラ関連 : 海外需要 不透明感継続
 アフターマーケット : 代理店 在庫調整終了



セクター活動：リーダー/チャレンジャー戦略

■ リーダー分野

- 工作機械 : 日本、中国をターゲット
: 生産性向上による更なる
コスト競争力強化
- 家電 : アライアンスを活用した
ボリュームゾーン強化

■ チャレンジャー分野

- ◇ インフラ・資源
 - 鉄道：メンテナンス強化
 - 建機：日系メーカー現地化対応
瀋陽工場の活用
 - 風車：洋上大形機への注力
 - 流体：LNG、シェールガス需要取込
- ◇ 技術で参入
 - ⇒ 高機能カタログ標準品で拡販
(HPSシリーズのラインアップ充実)

メンテナンス関連事業

- 新興国のインフラ系を中心に事業拡大
 - : 専任者の設置
 - ◇ メンテナンス : 設備保全作業
 - ◇ コンサルタント: 生産性向上、自動化
 - ◇ モニタリング : 設備診断
 - ◇ 消耗品 : 軸受、グリース、シール

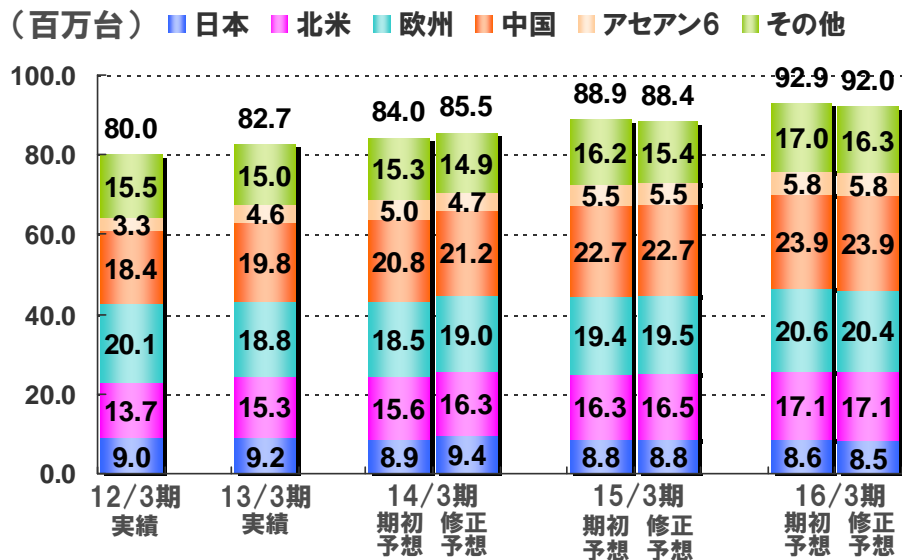
体質強化

- 生産リードタイム短縮
 - : 標準リードタイム短縮
 - : 工程再編・整流化
- サプライチェーンの強化
 - : アフターマーケットのサプライチェーン
効率化
 - ⇒ 販売頻度別在庫管理の高度化

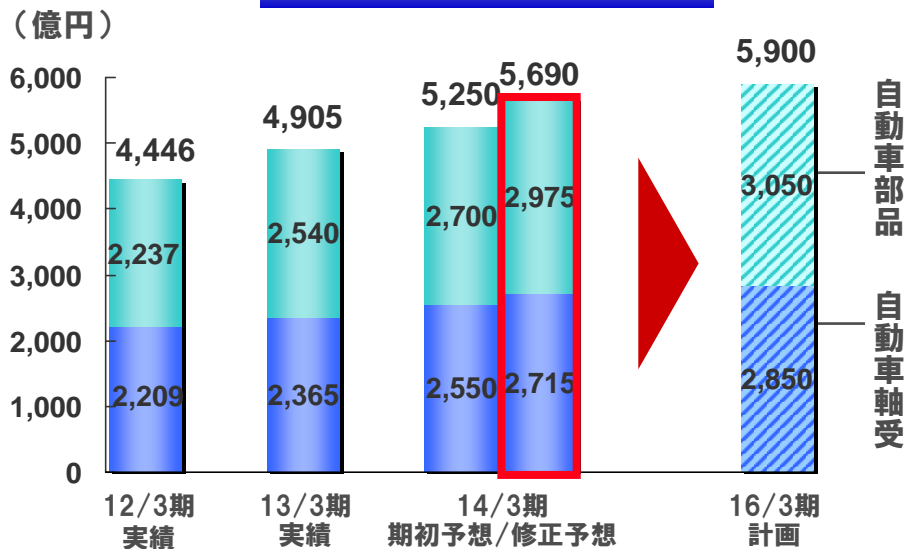
自動車事業① 生産台数予想と業績見通し



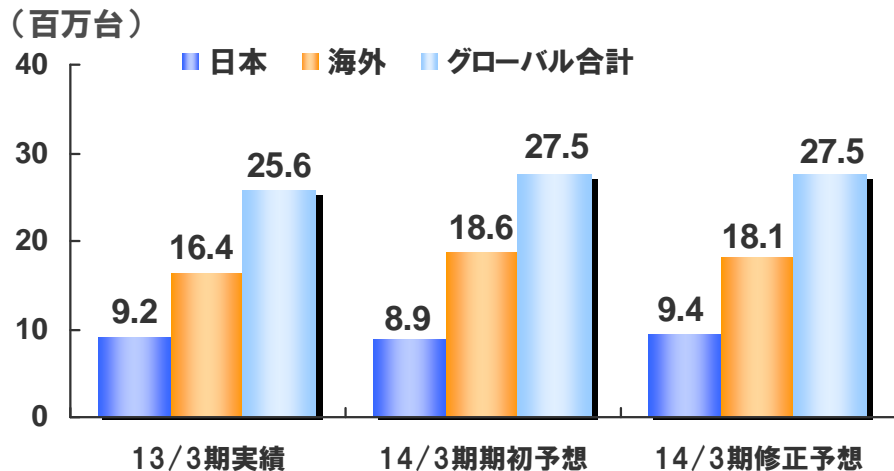
【グローバル自動車生産台数】



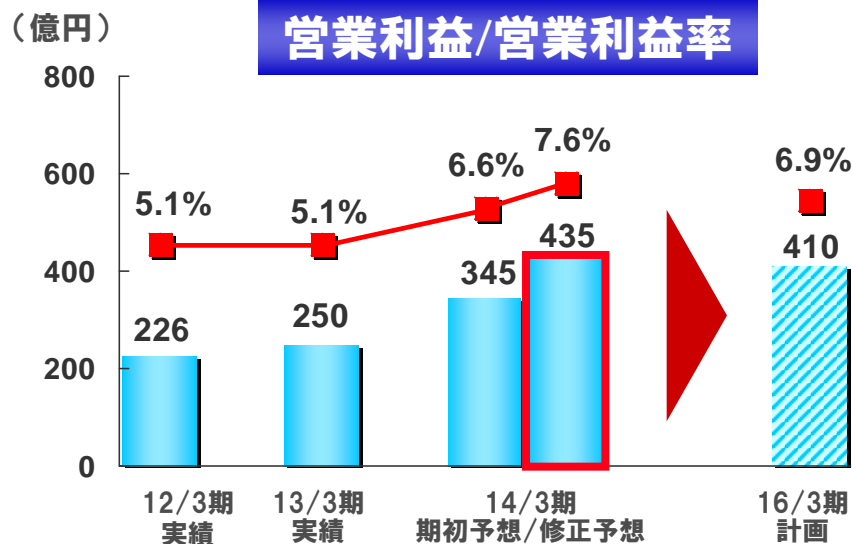
売上高



【日系自動車メーカー 生産台数】



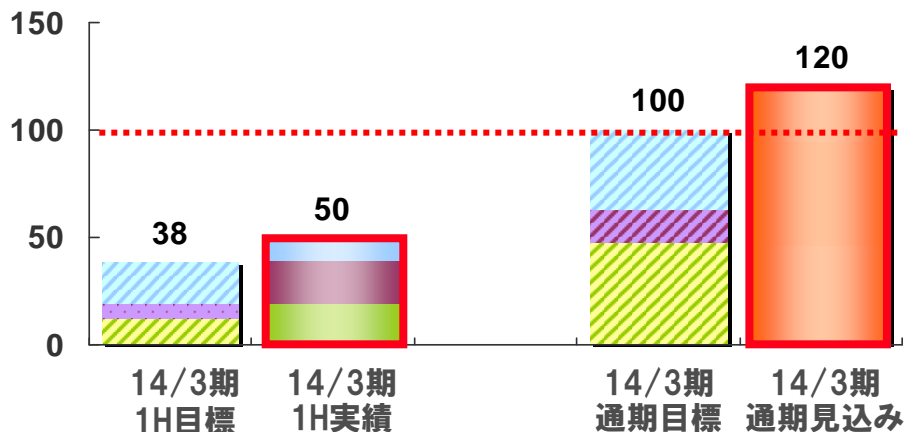
営業利益/営業利益率



自動車軸受

【新技術・新製品 売上高】

(指数) ■ 効率向上 ■ ボリュームゾーン ■ 電動化



■ 需要構造変化への対応強化

■ 上期計画を上回る売上進捗

■ 新技術・新製品対応

(主要拡充品)

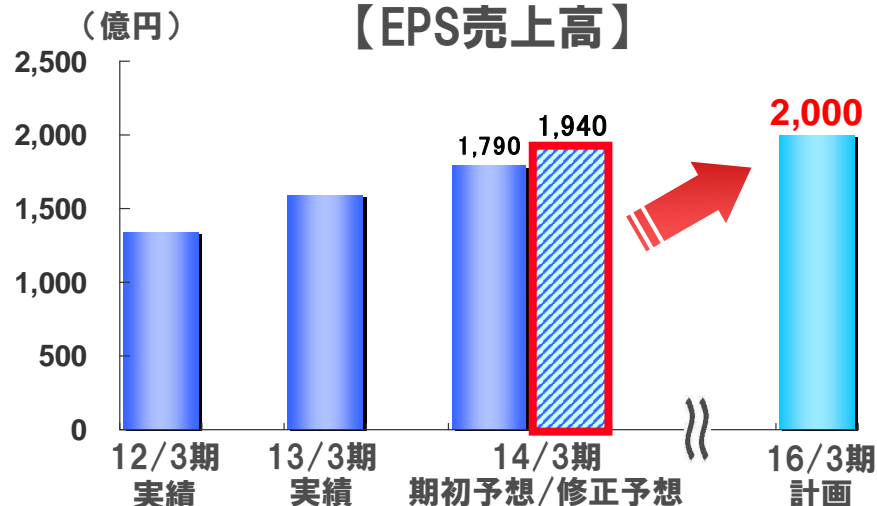
* 効率向上：低トルク品ラインアップ

* 新興国向け：耐水性向上軸受

* 電動化：HEV・EV専用/車載モータ用軸受

電動パワーステアリング (EPS)

【EPS売上高】



■ 受注済案件の確実な立上と収益管理

■ 次世代案件獲得のための活動強化

* ターゲットプロジェクトの早期取組開始

* 原価企画活動の強化

■ 収益力の強化

* 標準化・共通化

(タイプ別設計、工程、海外生産展開)

* 最適部品調達

■ 米州 新拠点検討

新興国基盤強化 メキシコ生産拠点設立

メキシコ新工場の狙い

- 拡大するメキシコ自動車生産への対応
- FTAを活用した北米・南米への供給拠点
- 米州自動車事業の収益力強化

【概要】

- ・所在地 : グアナフアト州 シラオ市
- ・設立時期 : 2013年4月
- ・操業開始 : 2014年春
- ・事業内容 : 自動車用軸受等の製造・販売
- ・生産金額 : 60億円 (2016年3月期)
- ・敷地面積 : 約10万m²
- ・建築面積 : 約1.3万m² (第1期予定)



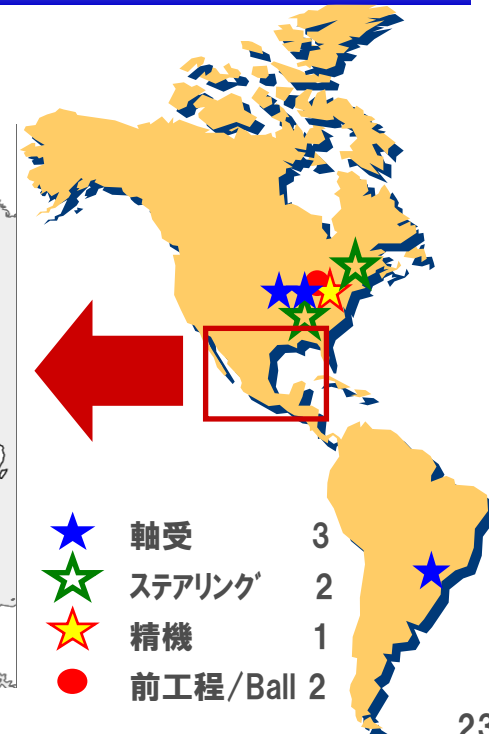
メキシコ工場完成予想図



工場敷地 (2013年9月時点)



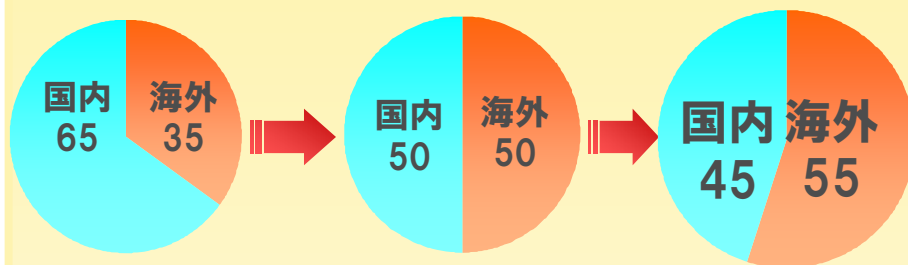
米州生産拠点 - 既存 -



海外生産力強化

■海外生産比率アップ

'12/3期 '14/3期 見込み '16/3期 目標



- ◇ 国内・海外生産比率を45:55に
 - 売上内外比率と同レベルを目標
 - 現地需要=現地生産体制の進展
 - 為替抵抗力強化

■生産再編 / 海外生産能力拡充

- 新興地域・成長分野での能力拡充
- 既存生産能力の強化

グローバルマネジメント力強化

- 本社マネジメントの国際化
- ローカルマネジメントの一層の国際化・現地化
- 中国アドバイザリボードの活用

経営基盤の強化

- 標準化・共通化・共用化の推進
 - 生産システム、販売システム、管理システムの更新による業務改革
- ⇒1兆円の物量を回す管理能力構築

(補足資料)

(補足資料) 2014年3月期 通期予想 [法人所在地別] **NSK**

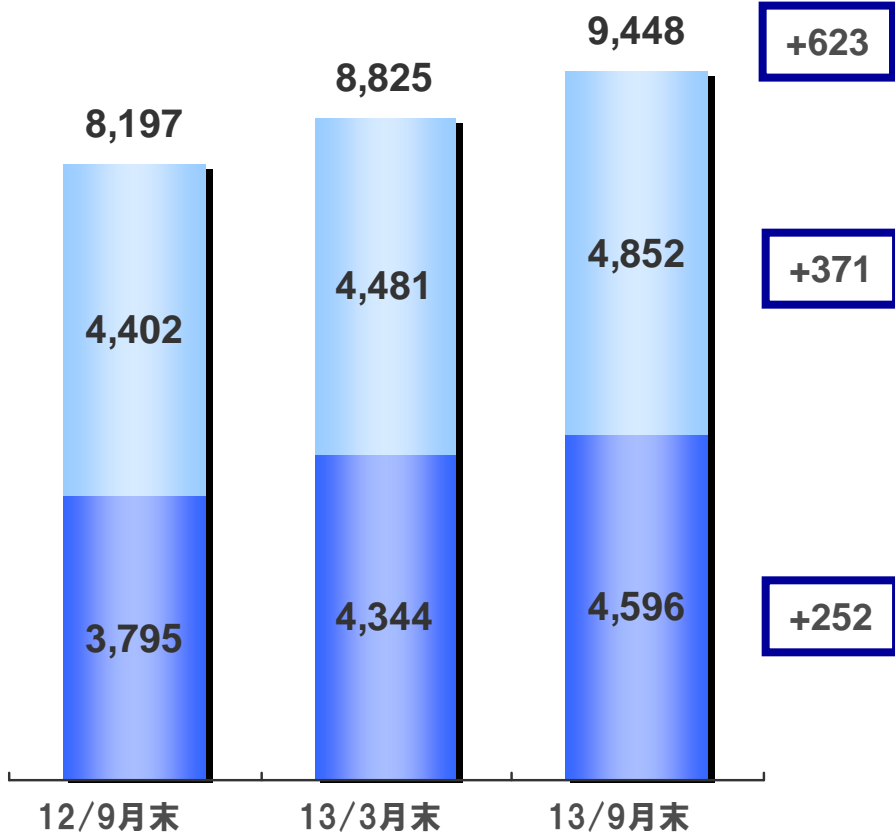
(億円)	13/3期			14/3期					
	前半 <実績>	後半 <実績>	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <5月予想>
売上高	3,694	3,634	7,328	4,136	4,264	8,400	+1,072	+14.6%	7,900
日本	2,597	2,327	4,924	2,519	2,571	5,090	+166	+3.4%	4,880
米州	487	536	1,023	642	653	1,295	+272	+26.6%	1,180
欧州	490	554	1,044	589	591	1,180	+136	+13.0%	1,165
アジア	954	983	1,937	1,346	1,369	2,715	+778	+40.2%	2,480
消去	-834	-766	-1,600	-960	-920	-1,880	-280	-	-1,805
営業利益	184 <5.0%>	140 <3.8%>	324 <4.4%>	288 <7.0%>	292 <6.8%>	580 <6.9%>	+256	+79.2%	490 <6.2%>
日本	136 <5.3%>	100 <4.3%>	236 <4.8%>	206 <8.2%>	154 <6.0%>	360 <7.1%>	+124	+52.5%	290 <5.9%>
米州	12 <2.5%>	20 <3.7%>	32 <3.2%>	19 <3.0%>	31 <4.8%>	50 <3.9%>	+18	+56.3%	45 <3.8%>
欧州	10 <1.9%>	10 <1.8%>	20 <1.9%>	12 <2.1%>	18 <3.1%>	30 <2.5%>	+10	+50.0%	35 <3.0%>
アジア	60 <6.3%>	46 <4.7%>	106 <5.5%>	96 <7.2%>	139 <10.2%>	235 <8.7%>	+129	+121.7%	195 <7.9%>
消去/全社費用	-34	-36	-70	-45	-50	-95	-	-	-75

(補足資料) 貸借対照表

資産

■ 固定資産 ■ 流動資産

対前期末差

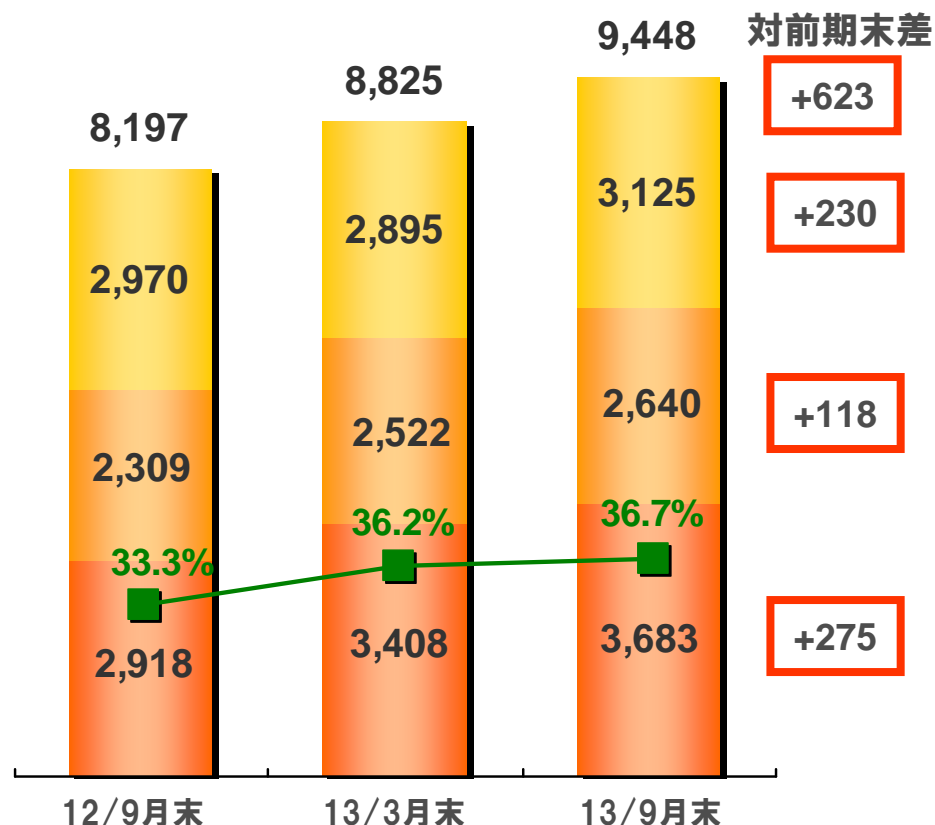


77.60	94.05	97.75
100.24	120.73	131.87

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

負債/純資産

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債 ■ 対前期末差



77.60	94.05	97.75
100.24	120.73	131.87

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

(補足資料) 設備投資 / 減価償却費 / 研究開発費

(億円)	13/3期 ＜実績＞	14/3期前半 ＜実績＞	14/3期 ＜5月計画＞
設備投資 (※)	445	180	380
日本	133	42	110
海外	312	138	270
米州	40	28	55
欧州	47	18	40
アジア	225	92	175

※無形固定資産を除く

(億円)	13/3期 ＜実績＞	14/3期前半 ＜実績＞	14/3期 ＜5月計画＞
償却費 (※)	324	159	315

※無形固定資産を除く

(億円)	13/3期 ＜実績＞	14/3期前半 ＜実績＞	14/3期 ＜5月計画＞
研究開発費	104	49	105